

令和7年10月17日

ブルキナファソのアブゼ・ジグマ王女殿下が 岡山市長を表敬訪問します

第14回グローバルRCE会議の基調講演者として国連大学に招聘され、来岡されたブルキナファソのアブゼ・ジグマ王女殿下が、岡山市長を表敬訪問します。

1 日 時

令和7年10月24日(金)10時～10時20分

2 場 所

岡山市役所本庁舎3階 市長室

3 訪 問 者

○アブゼ・ジグマ王女殿下(ブルキナファソ)

4 その他

アブゼ・ジグマ王女殿下は令和7年10月19日から10月24日まで岡山市内に滞在し、第14回グローバルRCE会議(10月21日～23日)に参加されるほか、東京でブルキナファソ大使館などを訪問予定です。

アブゼ・ジグマ王女殿下の略歴は裏面にてご確認ください。

(裏面あり)

【問い合わせ先】

岡山市 SDGs・ESD推進課 服部・和田 直通086-803-1353 内線3760・3763

アブゼ・ジグマ王女殿下(H. R. H. Princess Abze Djigma) について

国籍： フランス、ブルキナファソ 年齢： 1971年12月12生まれ(53歳)

言語： ムーア語、仏語、英語 教育： フランスの高校、大学、大学院卒業

地位： ブルキナファソのモシ族の王女。モシ族は主にブルキナファソ中央部に住む同国の最大民族。12 世紀の有名な戦士でモシ王国の母とされるイエネンガ王女の直系の子孫。

主な活動：

20年以上にわたり、国連のSDGs、世界環境、持続可能な教育、気候、エネルギー政策に関する専門家、アドバイザーとして活躍。インフォーマルセクター(経済活動を行っているが法的手続きを行っていない企業や活動)の重要性を訴え、発展途上国の貧困層や若者、女性のエンパワーメントを推進する活動で国際的に認知されており、国連をはじめハイレベルな国際会議で講演や司会を務めている。

具体的には、世界の小規模事業者や女性、子どもたちにも行き渡るエネルギーを提供するプログラム「ママ・ライト 持続可能なエネルギーの取組(MAMA-LIGHT Initiative for Sustainable Energy)」の代表を務める。このプログラムはインフォーマルセクターの支援、新規雇用の促進、女性のエンパワーメントを推進し、国連が選ぶSDGsに取り組む世界の14のプログラムの一つとなっている。

これまでに、国連防災世界会議「仙台防災枠組2015-2030」や「持続可能な開発目標(SDGs)」 「パリ協定」などの国連の国際アジェンダに積極的に貢献。内陸開発途上国会議「ウィーン行動計画」や開発資金国際会議「アディス・アベバ行動目標」にも参加した。その貢献が認められ、2016年に国連本部(ニューヨーク)で行われたパリ協定の署名式では国連事務総長からゲストとして招待された。

このほかユネスコが実施する「ユネスコ・日本ESD賞」※で国際審査委員長を務める。また、「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)」の第23～25回ではブルキナファソ代表団の副団長、第26、27回は代表団員として出席した。

※2016年に「岡山ESD推進協議会」が「ユネスコ/日本ESD賞」を受賞している